

平成30年1月31日

旭川西高校の主権者教育について

旭川西高校では、2年生の政治経済の授業の中で主権者教育を行っています。
この授業では、主に「現在の政治」の「民主政治の基本原則と日本国憲法」の単元において、約20時間の配当時数をかけて、次のような学習をします。

- ・民主主義のあり方について理解するとともに、現代政治の特質について把握する。
- ・日本国憲法の全体像にふれながら平和や人権などの問題について考察する。
- ・国会、内閣、裁判所、地方自治などの政治機構を理解し、政治に対して主権者としての関心を深める。
- ・選挙制度や政党について理解し、現代日本の政治の問題について幅広い視点から考察する。

模擬投票

授業の中の1つとして、模擬投票を行いました。

これは、実際の選挙と意識して、投票活動を試みようというものです。
模擬投票を体験した生徒の感想です。

- ・初めて選挙を体験してみて、僕たちが今考えている以上に簡単に投票できないのだと感じました。これまでの自分にとっての選挙とは、体験するまでとは全然違うもので、「一票」の重さを感じました。僕たちは17歳で、もうすぐ選挙権を持てる年齢となります。今、自分に必要なのは、政治に対する関心と興味だと思います。自分も社会の一員になると意識してこれからの生活を過ごしていきたいです。
- ・模擬投票をやってみて、比例代表と小選挙区の違いについて実際のデータを見ることで知ることができました。小選挙区は各党から定員1名だけ出て、どれか1人を投票するものなので1人だけに注目されてしまうので、個人の力が強くなるが死票が多くなることを知ることができました。
- ・自分で選ぶという責任感があり、自分も18歳になると、このような責任をもたなくてはならないのかと気が引き締まりました。

選挙前指導

2017年10月22日には、第48回衆議院議員総選挙が行われました。

本校では3学年の約半数の生徒が選挙権を持っていたことから、各ホームルームにおいて、選挙の前に選挙に対する心構えや、投票の仕方、選挙違反（やってはいけないこと）などについて、選挙前指導を行いました。

これらの指導を通じて、生徒は主権者意識を高めていったようです。